



県指定文化財の相良油田の油井から原油をくみ上げ

太平洋岸唯一の石油産地を伝える

■相良油田の里祭

5月18日、油田の里公園で「相良油田の里祭」が開かれました。

会場では、公園を管理する「菅山クラブ」が企画した新茶サービスや手もみの実演、ジャンケン負け大会、新茶もちプレゼントなど、さまざまなイベントが行われました。

また、近くにある県指定文化財の機械掘り井戸で原油のくみ上げが実演された後、この原油を使って発動機やバイクを動かすことに成功。会場は大いに盛り上がりました。

今年もおいしくできますように

■田植え／地頭方小

地頭方小学校の5年生37人が5月16日、地元のボランティア団体「末広会」が開く「田んぼの学校」に参加しました。

昔ながらのお米作りを体験することで、農業の苦勞や楽しさを学ぶこの活動は、同会が12年前に始めました。児童たちは会員の指導を受けながら、泥んこになって田植えに挑戦しました。

参加した児童は、「田植えは大変だけど楽しかった。秋の収穫が待ち遠しいです」と話してくれました。



会員の指導を受けながら、田植えに挑戦する児童たち

静岡牧之原茶を全国に発信

■「静岡牧之原茶」大阪新茶キャンペーン

「静岡牧之原茶」大阪新茶キャンペーンが5月24日と25日、大阪市内の百貨店で行われました。

牧之原市のPRと静岡牧之原茶の消費拡大を目的としたキャンペーンは今年で5回目。市出身で「静岡まきのはら大使」の貝井保さんが創業した茶卸問屋「榛原」の協力の下、萌黄色の法被を着た市長や茶娘姿の職員が買い物客に新茶を振る舞いました。多くの人から、「香りが良く甘みもあって美味しい」と好評を得るなど、会場は大勢のお客さんでにぎわいました。



買い物客に静岡牧之原茶をPRする市長



茶娘姿で観光客に新茶をPRする牧之原中の生徒

私たちが作ったお茶をどうぞ

■「学園茶」の販売と呈茶サービス／牧之原中学校

5月24日、牧之原中学校の3年生23人は東名高速道路下り線牧之原サービスエリアで、新茶の販売と呈茶サービスを行いました。

販売した新茶は、5月2日に学校茶園で手摘みした後、JAハイナンの協力で製茶され、生徒が50グラムずつ袋詰めにして用意しました。

当日は、お茶摘み姿となった生徒が、観光客らに笑顔でPR。高畑咲良さん(牧之原)は「自分たちが作ったお茶を、おいしいと言ってもらえるとうれしい」と話してくれました。



更生保護功勞で瑞宝小綬章を受章された河内さん

輝かしい功績をたたえる

■平成25年春の叙勲「瑞宝小綬章」受章

平成25年春の叙勲が内閣府から発表され、市内では、河内義宣さん(70歳、静波)が瑞宝小綬章を受章しました。

河内さんは、釣学院の住職を務める傍ら昭和63年から約26年間にわたり、保護司として、犯罪や非行に走った人たちの保護や更生、社会復帰の支援などに尽力されています。

受章に際して、「保護司が忙しい社会であってはなりません、問題を抱えている人たちのために少しでも役に立ちたいです。これからも微力ながら、犯罪のない地域づくりに協力していきたいと思います」と今後の抱負を話されました。

ズームイン！
カシャ！！



広報担当などがどこにでも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

歩いて味わう、静岡空港の魅力

■富士山静岡空港ウォーク2014

「マップまきのはら」などが組織する実行委員会主催の「富士山静岡空港ウォーク2014」が5月11日、静岡空港とその周辺で開催されました。

空港を発着点とする6キロと12キロのコースに約500人が参加。石雲院や航空資料館、空港東側展望広場などの見どころと離発着する飛行機の迫力を楽しみながら、ゴールを目指しました。

参加者からは、「さわやかな天気にも恵まれ、知らなかった空港周辺の魅力に触れることができ良かった」などの感想が聞けました。



青空のもとウォーキングを楽しむ参加者たち



さがら風友の会に手ほどきを受け風づくりを楽しむ親子

子どもの健やかな成長を願って

■さがら風あげ大会

子どもの初節句を祝う「さがら風あげ大会」が5月5日、さがらサンビーチで開催されました。

江戸時代から続く伝統行事に、市内外から20組以上の家族が参加。恒例の大風あげに加えて、今年は「小風づくり教室」も行われ、さがら風友の会メンバーらの手ほどきを受けながら、親子で風づくりを楽しみました。

大空に舞う色鮮やかな大風と自作の小風の共演に、参加者からはたくさんの拍手と大きな歓声が上がりました。